

10. 京都市紫野障害者授産所
生活介護事業 就労継続B型事業 特定相談支援事業所

1. 生活介護事業「菜の花」

(1) 総 括

利用者数は変化なく9名でスタートした。新型コロナウィルス感染者が5名（利用者2名・職員3名…所長含む）発生したものの、事業所を休所することはなく事業を運営できた。稼働率は、8月と12月に100%を下回ったが、年度の平均稼働率は102.7%であった。

プログラムは、新型コロナウィルス感染防止対策を徹底した上で、これまでに引き続き、授産所内デイルームでの生産活動による雑貨制作・創作活動による芸術作品の制作を中心に行った。屋外での活動は、京都府下の新型コロナウィルスの感染者数の状況を見ながら、ドライブやピクニックなど、屋外での飲食等を伴う外出を実施した。

(2) 職員体制（令和4年度末現在）

所長1名（就労継続支援B型事業管理者兼務）・サービス管理責任者1名（所長が兼務）生活支援員4名（正規職員1名・再雇用職員1名・補助職員1名・非常勤職員2名）・看護職員1名（嘱託職員）・医師1名（嘱託医）<現場職員常勤換算3.6名>非常勤職員が休職、休職後も欠勤となっていたが、年度末退職となった。

(3) 利用者の状況（令和4年度末現在）

ア 在籍人数

定員 6名 現員 9名 (年度内契約者0名、契約解除者1名)

就労継続支援B型から長年通所していた利用者1名が、年度末で退所した。

一日の利用人数 6.1名 (開所日 243日※ 利用延べ人数 1497名 稼働率 102.7%)

イ 年齢別人数(平均年齢 37.6歳)

20未満	30未満	40未満	50未満	60未満	60以上	計
0	4	2	0	2	1	9

ウ 支援区分(平均区分 5.6)

区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0	0	0	3	6	9

エ 障害状況

身体障害者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	無	計
	3	2	1	1	0	2	9
療育手帳	A			B			計
	6			2			8※

※療育手帳なし1名

オ 居住区別人数

北	上京	中京	右京	左京	計
6	2	0	0	1	9

(4) 重点方針及び事業内容 取組結果

ア 生活介護事業の安定した運営

(ア) 稼働率は、8月、12月は100%を下回ったものの、昨年度に引き続いで平均稼働率100%以上を確保した。

(イ) 半期に1度のモニタリングと個別支援計画作成を実施し、利用者や家族の希望を反映した支援を実施した。

(ウ) 利用者交流では、新型コロナウィルス感染防止に細心の注意を払いつつ、社会の動向を見た上で、節目の企画（歓迎会、年末のクリスマス会や、年度末の慰労会・送別会など）については、短時間、飲食をともなわずに実施した。

昼食後の休憩時、「さくさく工房」の利用者が自然と「菜の花」利用者の中に入り、カードゲーム等を行う姿が見られ、職員が見守り支援を実施している。

(エ) 備品については、倉庫のエアコン設置を予定していたが、実施できなかつたため、次年度に実施することとした。

イ 利用者支援の充実

(ア) 日々の健康観察、月1回の体重測定等、利用者の健康維持に努めた。昼食後の歯磨きについては、飛沫を防ぐことができないため中止。「京都府歯科医師会」口腔ケア講習は、実施対象とならず、受講することができなかつた（定員が10名以上の生活介護が対象）。嘱託医による健康相談（情報提供）については、zoomを活用しオンラインにて実施し、例えば「花粉症についてのクイズ」、「食事に関するクイズ」、「うがい手洗いに関するクイズ」といったような、季節や生活に合つた、しかも身近なテーマで嘱託医が工夫をこらし、利用者個々が健康に関して興味を抱くきっかけづくりを行つた。

(イ) 新型コロナウィルス感染対策については、以下を実施した。

入館時のアルコール消毒、館内の手すり、ドアノブ等の消毒

1日2回の検温（1回は自宅出発前）とパルスオキシメーターの常備

可能な限りマスクの着用とソーシャルディスタンス確保

（ただし、令和5年3月13日以降は着用は国通知通りに通知）

昼食時の会話を控えていただき、「さくさく工房」利用者との食事を分散化継続

外食プログラムの自肃・調理実習の中止（ただし黙食に限り、屋外での飲食は実施）

常時換気による夏期の熱中症や冬期の気温低下対策（サーキュレーター・温風機）

送迎車の常時換気と手が触れる箇所の消毒

トイレ介助時に使い捨てエプロンを装着

口腔ケアは中止

他、年度内に利用者2名、職員1名が新型コロナウィルス感染。自宅療養することとなつた。

(ウ) 「京都市障害福祉サービス事業所等訪問支援事業」より、理学療法士等の事業所訪問指導を利用し、1名の利用者の身体機能・車イス等の移乗について助言・指導を受けた。

(エ) 生産活動では、雑貨を製作。フェルト、ビーズ、プラ板、毛糸のポンポン等、製作

した雑貨類は「さくさく工房」の店舗、北区役所販売会、北山ふれあいセンター販売会、左京区八瀬の猫猫寺等で販売している。

売上が伸び、数年ぶりに期末賞与を全員に支給することができた。

(オ) 創作的活動では、書道・造形・絵画制作などを中心として、季節感を大切にし、四季折々の言葉を題材にした書や、季節の生き物や景色などを描いたりすることを大切にした。また、納涼茶会や桃の節句などでは、利用者が浴衣姿で過ごすなども実施した。

創作作品は、全利用者が（1名は他法人から）「とっておきの芸術祭」に出品しており、1名の利用者が京都市長賞・オーディエンス賞（開催期間中の観覧者による投票で多数の票を獲得した作品に与えられる賞）を同時受賞した。

事業所内の「なのはな展」でも作品を展示し、市民の目に触れる機会をつくった。今回の実施期間は、就労継続支援B型利用者の展覧会（後述）との兼ね合いで、年度をまたぎ、令和5年3月中旬から4月中旬までの4週間とした。

「法人設立50周年記念セレモニー」にむけて、昨年度製作した「天使の羽」を展示。セレモニーアルバムにて「写真撮影スポット」とした。

(カ) 発達障害の可能性のある利用者1名が、他利用者の声などにより断続的に不調となっている。特定の利用者の声に反応されることが多く、状態が悪い際は、個室の使用などでクールダウンを図ってきたが、調子の波があり、未だ継続している。

(キ) 事業所内虐待防止研修に外部講師を招へいし、職員の人権擁護、虐待防止への意識を高めた。当年度は「障害者の性」について学びを深め、今後の利用者支援向上するためのきっかけとした。

また、虐待に関する法人内部研修を受講し、支援者の虐待予防意識の向上に努めた（伝達研修は次年度4月のリスクマネジメント会議にて実施予定）。

ウ 特定相談支援事業所との連携

他法人の相談支援事業所と、利用者の生活全般、体調の変化等について連携した。別の利用者については、退所時の他事業所への移行等について連携した。また、利用者の個別支援計画作成にあたっては、相談支援事業所と連携した上で作成している。

(5) 情報

法人ホームページ内ブログを随時更新、紙媒体「授産所だより」を年3回発行し、情報発信した（4号目の年度末号は編集が遅れ、次年度4月発行予定）。

(6) 育成

ア 実習やボランティアの受け入れ状況（就労継続B型と共に）

実習生 社会福祉士12名・介護等体験4名・福祉体験実習5名

ボランティア 登録16名（卓球バレー指導者・造形指導者・イラスト指導者・書道指導者・フォークダンス指導者・利用者交流（作業補助）等）

新型コロナウィルスの影響で、福祉を志す学生の実習受け皿確保が各学校で困難となっていた。授産所としては、将来の福祉人材の育成は重要であると判断し、積極的に実習生を受け入れた。社会福祉士のカリキュラムが変更となり、実習時間が大幅に増えたことにより、学校側からの要望も強かった。介護等体験は長い期間中止となっ

ていたが、要約年度後半より再開した。

イ リスクマネジメント（就労継続支援B型と共通）

事業所内の虐待防止委員会と位置付けている、「リスクマネジメント会議」を月1回実施し、事業所内のインシデントレポート、アクシデントレポートの振り返り、法人全体のアクシデントレポートから自事業所でも起こりうるケースを1件取り上げ共有した。また、虐待に関する情報を各職員が提供し、共有することで虐待防止意識の向上をめざした。

インシデントレポートの提出が少なかった。気づきがアクシデントを軽減することを意識し、日々の気づきをレポートとして提出できるよう職員へ意識づけが必要である。

インシデント報告件数 … 28件

アクシデント報告件数 … 11件

内訳：利用者私財物損 … 1件

利用者転倒 … 4件

交通事故（自損） … 1件

交通違反（駐車禁止等） … 2件

その他（業者弁当異物混入・小口現金不足） … 3件

・職員育成

法人内部・他機関の実施する外部研修を積極的に受講させ、日頃の支援に活かせるようとした。

（7）地域との交流・連携の状況

公益的な取組

町内の地蔵盆については、規模を縮小して実施され、授産所の敷地利用はあったものの、実施日が日曜日であったため（曜日に関わらず例年8月14日に実施）、「菜の花」利用者と地域住民との交流は叶わなかった。

地域交流

地域の中学校の育成学級（2校）と夏期・冬期の交流会は、新型コロナウィルスの影響により、夏期・冬期とも、zoomを活用した交流会となった。

（8）施設設備の状況（修繕備品等購入含む）

利用者の作業スペースに活用予定の倉庫に、エアコンを設置する計画であったが、次年度に持ち越した。

2. 就労継続B型事業「さくさく工房」

（1）総 括

契約利用者数は年度はじめに支援学校卒業生1名と契約した。また、1名の高齢利用者が自宅にて転倒・骨折出し、長期的入院、長期欠席となった。さらに、1名の利用者が福祉就労を遂げ、退所して病院勤務することとなった。

新型コロナウィルス感染について、3名（利用者2名、職員1名…所長のぞく）の感染者が発生した。

下請作業は新型コロナウィルスの影響を受け、菓子の袋詰め関連の作業量が低迷

していたが、年末年始あたりより少しづつ注文が増えてきた。作業の空き時間がある際は、自主製品の製造を行い、店舗を中心に販売を継続した。とりわけ動物の刺繡製品（ワッペン等）がよく売れた。下請全体の売上は99万円強で、昨年度比で21%強増加した。

製菓作業は、新型コロナウィルスの影響があるものの、イベント等で使用する品物の受注が相次ぎ作業量は相当増大した。また、出展機会も少しづつ回復し、既存のイベントよりも新規の出展依頼が目立った。継続してSNSを活用した宣伝や、新たな販路を開拓し、売上は昨年度比で15%強増加した。

事業計画では、製菓専属職員を雇用する予定であったが、製菓技術をアドバイスするパティシェを定期的に講師として派遣し、新商品の開発や、既存商品の改良に努めた。

(2) 職員体制（令和4年度末現在）

所長1名（生活介護事業兼務）・サービス管理責任者1名（所長兼務）

職業指導員3名（正規職員2名（相談支援専門員兼務）・非常勤職員1名）・生活支援員1名（正規職員）・目標工賃達成指導員1名（補助職員）<現場職員常勤換算4.3名>

(3) 利用者の状況（令和4年度末現在）

ア 在籍人数 定員 14名 現員 17名（年度内契約者1名、解除者3名）

1日の平均利用人数 12.4名（開所日243日 利用延べ人数3402名 稼働率88.3%）

イ 年齢別人数 平均年齢44.3歳

	20未満	30未満	40未満	50未満	60未満	60以上	計
男性	1	0	1	1	4	1	8
女性	1	4	0	2	2	0	9
計	1	3	1	5	6	1	17

ウ 障害状況

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無	計
身体障害者手帳	4	6	0	3	1	0	3	17

エ 障害年金の状況

等級	1級	2級	無・不明	合計
障害基礎年金	8	2	7	17

オ その他障害状況

等級	1級	2級	3級	合計
精神福祉手帳	0	0	0	0
療育手帳	A	B		合計
	7	2		9

カ 居住区别人数

北	上京	左京	中京	西京	右京	南	山科	計
7	6	2	1	0	0	0	1	17

(4) 重点方針及び事業内容 取組結果

ア 就労継続B型事業の充実

(ア)就労の場としては、今年度も下請と製菓に分かれて提供した。

下請では製菓会社からのお菓子等の袋詰め・箱詰め(a)、出版社からの封筒への書類封入とラベルシール貼り(b)、造酢会社からの商品の袋詰め(c)、菓子卸問屋からのお菓子の検品と袋詰め(d)の依頼をいただいた。(b)の作業は、利用者に毎月安定的に提供できた。(d)はさまざまな種類の菓子を袋詰めする作業を提供できた。(a)については発注元の企業が新型コロナウィルスの発生状況に影響を受け、作業量に波があったものの、年末年始には通常量程度の作業依頼があった。また、同様に菓子等を袋詰め、資材の選別などの作業も含め、多くの作業を提供することができた。

業者からの内職の依頼は昨年度より回復したが、依然作業量は完全には戻っていない状況である。そのため、コロナ禍で取り組んだ自主製品について、刺繡、イラスト作りを引き続き行った。その結果、商品のバリエーションも増え、技術力も向上した。2月にその成果である「二人展」を店舗で開催し、イラスト、刺繡の商品を展示、販売することができた。作り手である利用者のモチベーションアップにつながっている。

京都市北区役所から、「こんにちは赤ちゃん事業」で保健師が新生児宅を訪問する際の記念品（トートバッグ）の受注も継続している。

下請の売上高は17万強の増額となった。

製菓も昨年度に引き続き、新型コロナウィルスの影響を受け出展販売機会が少なく、各方面でのイベント自粛があったが、新規イベントからの出展依頼を受け、少しずつ出展機会が増えた（船岡山オープンパーク・第一生命・おおやけの里等）。Instagramなどのソーシャルネットワークサービス（SNS）からの情報発信を引き続き積極的に行なったことで、店舗への来店による売上昨年度並みとなっており、客数は昨年度比で10%減るも、店舗売上高はほぼ同水準となった。Instagramのフォロワー（投稿内容を見られるように登録した人）数は、活用開始から約2年で600を上回り、日々増加している。また、焼菓子の受注や卸先への販売が伸び、最終的に製菓の売上高は約100万円増加した。

(イ)稼働率については、前年度より2.5%伸びた。

(ウ)作業の安定と充実について、作業収入は前年度と比較すると15%増加した。増額には、9月からの商品値上の影響も考えられる。資材の仕入れ値が高騰しており、今年度も京都市の「生産活動継続支援補助金」を申請した。

工賃については、数年ぶりに期末賞与を総額60万円以上支給することができた。

年 度	年度工賃総額	月平均工賃総額	個人最高年額	作業収入
令和2年度	1,969,770円	164,148円	342,390円	4,975,278円
令和3年度	1,907,350円	158,946円	291,570円	5,698,016円
令和4年度	2,646,320円	220,527円	296,710円	6,642,571円

(エ) 食の安全性の重視については、HACCP が 2021 年 6 月に義務化され、現在も作業前のチェック表を活用してから作業を始めている。焼菓子への異物混入等はなかった。

店舗にて、賞味期限切れの商品を販売してしまうアクシデントがあったが、当該商品は商品サンプルであり、販売すべきものではなかったものを誤って販売してしまった。

(オ) 虐待防止については、「障害者の性」について学んだ（生活介護と共に）。

また、自閉症スペクトラムの理解を進め、自閉症支援に特化した研修の受講、児童精神科医を招へいし、PECS に関する取り組みを開始した。

他法人のベテラン支援者が講師を務める事例検討会を行った。4 回事例を検討し、障害特性の理解に努め、支援の改善を行った。

(カ) 就労支援については、現在 2 名の就労希望者がおり、内 1 名については、法人内の「就業・生活支援センター」と連携し、面接先の選定や実習先の模索を昨年度に引き続き行った。結果、令和 5 年 1 月より一般就労することとなり、退所となった。今後は就労の様子を確認しながら、通所事業所に通うことがなくなったため、福祉サービスの利用につながるよう各方面と連携してゆく。

(キ) 今年度も SDGs に関する取組を行った。

食品・資材などのロス削減

廃棄量計算を継続（年間 6,850 g の焼菓子廃棄・昨年度比マイナス 2,200g）

レジ袋有料化にともなうプラスチック製品流通抑制の継続

レジ袋をバイオマス袋（30%使用）

貧困問題の解決に寄与

製菓の原材料に「フェアトレード」黒糖、「フェアトレード」ココナッツシュガーを使用した商品の製造・販売を継続

(ク) 新型コロナウィルス感染対策については、以下を実施した

入館時のアルコール消毒、館内の手すり、ドアノブ等の消毒

1 日 2 回の検温（1 回は自宅出発前）

可能な限りマスクの着用とソーシャルディスタンス確保

（生活介護同様、令和 5 年 3 月 13 日より、国通知に準じる）

昼食時の会話を自粛し、「菜の花」利用者との食事を分散継続

感染拡大が著しい時期、緊急事態宣言発令中のボランティア受入中止

施設外見学等の自粛

常時換気

公用車の常時換気と手が触れる箇所の消毒

店舗入口にアルコールスプレーを設置・非接触検温計を設置

店舗カフェテーブルにアクリル板を継続設置

イ 多機能型の特性を活かした利用者支援の充実

生活介護と共に

ウ 特定相談支援事業所との連携

他法人の相談支援事業所、紫野授産所内の相談支援事業所と連携し、個別支援計画の作成を行った。また、日頃の利用者の様子や状況の変化などは相談支援事業所等と情報共有した。

エ 地域における公益的取り組み

- (ア) 車椅子の貸し出しについて、1件の貸し出しを行った。用途は、地域の福祉施設における車椅子の介助のための研修であった。
- (イ) 町内の地蔵盆は、昨年に続き規模を縮小して実施された。町内からは地蔵盆のおやつに「さくさく工房」のクッキーを取り扱っていただいた。
- (ウ) 近隣の放課後等デイサービスにクッキーの寄付を行った。
- (エ) 「京都市紫野児童館」のハロウィンイベントで、子どもたちが「さくさく工房」にお菓子をもらいに来る際のクッキーを無償提供している。
- (オ) 京都市の公立小学校より、「総合的な学習の時間」の福祉の学習において、授産所より学校へ出向き、パラリンピックの種目ともなっている障害者スポーツである「ボッチャ」を通じて児童と事業所の職員や利用者交流をおこない、福祉についての理解を深める機会をつくることができた。また、佛教大学においても、合同ゼミの中で利用者と学生が「ボッチャ」の交流試合を行うことで、お互いを知る機会をつくることができた。ほか、ノートルダム女子大学においても、連携を強めている。北部自立支援協議会のND協働プロジェクトに参加し、学生との交流、学内での販売を実施した。昨年度から交流しているこども教育学科からの依頼で新入生への事業所紹介、文化祭での焼菓子販売を行うことができた。

(カ) ほっとはあとセンターを通じ、2か所の子ども食堂からクッキーの受注を受けた。

(5) 情報

- ア 季刊誌については、生活介護と共に。
- イ ソーシャルネットワーキングサービスについては、FacebookページとInstagramの活用を継続。「さくさく工房」の活動を中心に、FacebookやInstagramで取り組みや店舗情報を紹介。特に出演のお知らせやイベント中の様子、セール情報、作業の様子等がリアルタイムに顧客へ発信することができた。2022年3月現在Instagramのフォロワー数は約650。1年で約200のフォロワーが増えたことになる。一方、Instagramの発信が頻回になったが、ブログの更新が滞っており、次年度以降は担当者を置き、ブログによる発信も復活させてゆく。

(6) 育成

生活介護と共に

(7) 地域との交流・連携

- ア 月1回開催している「さくさく市」は、今年度はコロナウィルスの状況を見て、6月は「さくさく工房」オープン周年セール、8月は地域の子どもたちのためにミニミニ夏祭りを兼ねて「さくさく市」を実施。令和5年からは、2月、3月に週末開催し、2月には不登校の子どもたちの居場所づくりをしているグループへの焼菓子講座や、小学生の淹れるコーヒースタンドとのコラボレーションも実施した。
- イ 地域交流のできる大きなイベントである「北区民ふれあいまつり」、「大宮商店街夏まつり」が相次いで中止となつたが、「FUNAOKA STANDARD」は半日ながら、久しぶりに出展形式で開催され、「さくさく工房」も販売に出向いた。
- ウ 近隣の町おこしのつながり「北大路テラスネットワーク」が主催するイベントも中止されている。

エ 船岡山を活性化させる事業の一環で、毎月開催される「船岡山オープンパーク」が秋からスタートし、出展販売する機会を得た。

(8) 施設設備 取組結果

製菓のラベルシールプリンターが経年劣化していたため、新調した。

3. 京都市北合同福祉センター

(1) 維持管理 取組結果

ア 京都市北合同福祉センター設備点検の実施

消防設備点検及び所轄消防署への報告、エレベーター定期点検、受水槽定期点検及び清掃、水質検査、電気設備の定期的な点検、自動ドアの定期的な点検、業者等と綿密な連携をしながら滞りなく実施している。

電気設備の部品の交換時期がきている。2年度前より京都市と協議中であるが、電気設備は高額なため、進みにくい。修繕の実施はパーツごとに京都市へ提案し、次年度以降に実施したい。

イ 清潔な建物管理の実施

毎日の清掃により衛生的な環境を整えた。定期清掃については、年度に4回実施する計画であったが、業者との行き違いにより1回のみの実施となった。未実施の差額については、年度末の支払い時に相当額を返金調整している。

ウ 警備会社と連携し施設の防犯に努める

特に問題なし

(2) 各館及び地域との交流・連携 取組結果

ア 館長会の実施

(ア) 共同防火管理協議会、各館の近況報告、維持管理についての報告、情報の共有を行った。新型コロナウィルスの影響により、11月・1月は実施できず、3月は書面での開催となった。

(イ) 年2回合同避難訓練を実施している。北消防署大徳寺出張所の指導のもと、実際に火災が発生したことを想定した、館内の利用者も含めた避難訓練を行い、火災に備えた。

イ 交流事業の開催

新型コロナウィルスの感染が拡大したことで、大きな交流は実現していない。

京都市紫野障害者授産所区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入	就労支援事業収入	[5,580,000]	[6,596,027]	[△ 1,016,027]
	製菓事業収入	(5,020,000)	(5,696,998)	(△ 676,998)
	製菓事業収入(課税)	4,690,000	5,254,310	△ 564,310
	製菓事業収入(不課税)	330,000	442,688	△ 112,688
	下請事業収入(授産所)	(560,000)	(899,029)	(△ 339,029)
	下請事業収入(授産所)(課税)	540,000	898,347	△ 358,347
	下請事業収入(授産所)(不課税)	20,000	682	19,318
	障害福祉サービス等事業収入	[61,860,000]	[57,139,067]	[4,720,933]
	自立支援給付費収入	(53,810,000)	(48,578,919)	(5,231,081)
	介護給付費収入	24,650,000	23,501,523	1,148,477
	訓練等給付費収入	28,880,000	24,916,595	3,963,405
	計画相談支援給付費収入	280,000	160,801	119,199
	利用者負担金収入	0	17,732	△ 17,732
	その他の事業収入	(8,050,000)	(8,542,416)	(△ 492,416)
	補助金事業収入(公費)課税	20,000	0	20,000
	補助金事業収入(公費)不課税	0	351,572	△ 351,572
	受託事業収入(公費)課税	7,960,000	8,098,874	△ 138,874
	その他の事業収入(課税)	60,000	91,970	△ 31,970
	その他の事業収入(不課税)	10,000	0	10,000
事業	経常経費寄附金収入	[10,000]	[0]	[10,000]
	受取利息配当金収入	[10,000]	[330]	[9,670]
	その他の収入	[1,080,000]	[1,316,085]	[△ 236,085]
	受入研修費収入	160,000	258,500	△ 98,500
	雑収入	(920,000)	(1,057,585)	(△ 137,585)
	雑収入(課税)	910,000	1,051,913	△ 141,913
	雑収入(不課税)	10,000	5,672	4,328
	事業活動収入計(1)	68,540,000	65,051,509	3,488,491
	人件費支出	[46,310,000]	[43,217,550]	[3,092,450]
	職員給料支出	(25,850,000)	(26,156,287)	(△ 306,287)
	職員給料支出(課税)	760,000	1,155,054	△ 395,054
	職員給料支出(不課税)	25,090,000	25,001,233	88,767
	職員賞与支出	8,800,000	7,121,022	1,678,978
	非常勤職員給与支出	(4,720,000)	(3,386,540)	(1,333,460)
	非常勤職員給与(課税)	40,000	80,256	△ 40,256
	非常勤職員給与(不課税)	4,680,000	3,306,284	1,373,716
	退職給付支出	930,000	807,426	122,574
	法定福利費支出	6,010,000	5,746,275	263,725
事業	事業費支出	[3,880,000]	[3,026,221]	[853,779]
	保健衛生費支出	200,000	128,889	71,111
	被服費支出	100,000	0	100,000
	教養娯楽費支出	160,000	69,123	90,877
	本人支給金支出	90,000	85,100	4,900

京都市紫野障害者授産所区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
活動による収支	水道光熱費支出	(760,000)	(967,434)	(△ 207,434)
	電気料	670,000	874,532	△ 204,532
	ガス料	50,000	48,644	1,356
	上下水道料	40,000	44,258	△ 4,258
	消耗器具備品費支出	580,000	324,604	255,396
	保険料支出	280,000	243,527	36,473
	賃借料支出	510,000	504,802	5,198
	教育指導費支出	500,000	133,128	366,872
	車輌費支出	(610,000)	(400,464)	(209,536)
	燃料油脂費	230,000	365,814	△ 135,814
	その他の車両費	380,000	34,650	345,350
	雑支出	(90,000)	(169,150)	(△ 79,150)
	雑支出(課税)	20,000	94,150	△ 74,150
	雑支出(非課税)	10,000	0	10,000
	雑支出(不課税)	60,000	75,000	△ 15,000
	事務費支出	[12,760,000]	[11,500,625]	[1,259,375]
	福利厚生費支出	(300,000)	(311,092)	(△ 11,092)
	福利厚生費(課税)	200,000	226,866	△ 26,866
	福利厚生費(不課税)	100,000	84,226	15,774
支出	旅費交通費支出	30,000	17,338	12,662
	研修研究費支出	140,000	82,778	57,222
	事務消耗品費支出	600,000	426,780	173,220
	印刷製本費支出	230,000	263,495	△ 33,495
	水道光熱費支出	670,000	589,013	80,987
	修繕費支出	1,270,000	684,766	585,234
	通信運搬費支出	140,000	213,404	△ 73,404
	会議費支出	30,000	1,143	28,857
	広報費支出	30,000	37,400	△ 7,400
	業務委託費支出	6,740,000	6,312,199	427,801
	手数料支出	110,000	169,474	△ 59,474
	賃借料支出	70,000	68,211	1,789
	租税公課支出	1,260,000	1,320,850	△ 60,850
	保守料支出	910,000	799,686	110,314
	涉外費支出	140,000	121,017	18,983
	諸会費支出	(80,000)	(73,000)	(7,000)
	諸会費支出(不課税)	80,000	73,000	7,000
	雑支出	(10,000)	(8,979)	(1,021)
	雑支出(課税)	5,000	0	5,000
	雑支出(不課税)	5,000	8,979	△ 3,979
	就労支援事業支出	6,980,000	6,859,852	120,148
	就労支援事業販売原価支出	6,360,000	5,395,337	964,663
	就労支援事業製造原価支出	6,360,000	5,395,337	964,663

京都市紫野障害者授産所区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位 : 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
就労支援事業販管費支出	就労支援事業販管費支出	620,000	1,464,515	△ 844,515
	支払利息支出	[30,000]	[5,643]	[24,357]
	その他の支出	[920,000]	[994,253]	[△ 74,253]
	雑支出	920,000	994,253	△ 74,253
事業活動支出計(2)		70,880,000	65,604,144	5,275,856
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 2,340,000	△ 552,635	△ 1,787,365
施設整備等収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
固定資産取得支出				
	器具及び備品取得支出	[1,500,000]	[1,009,800]	[490,200]
	ファイナンス・リース債務の返済支出	[1,500,000]	[1,009,800]	[490,200]
施設整備等支出計(5)		1,580,000	1,080,061	499,939
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 1,580,000	△ 1,080,061	△ 499,939
積立資産取崩収入	積立資産取崩収入	[4,720,000]	[3,620,000]	[1,100,000]
	人件費積立資産取崩収入	600,000	0	600,000
	修繕積立資産取崩収入	1,500,000	1,500,000	0
	備品等購入積立資産取崩収入	1,820,000	1,320,000	500,000
	工賃変動積立資産取崩収入	800,000	800,000	0
	拠点区分間繰入金収入	[4,670,000]	[4,940,000]	[△ 270,000]
その他の活動収入計(7)		9,390,000	8,560,000	830,000
積立資産支出	積立資産支出	[0]	[1,520,000]	[△ 1,520,000]
	人件費積立資産支出	0	1,520,000	△ 1,520,000
	拠点区分間繰入金支出	[5,470,000]	[5,310,000]	[160,000]
その他の活動支出計(8)		5,470,000	6,830,000	△ 1,360,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		3,920,000	1,730,000	2,190,000
予備費支出(10)		0	—	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	97,304	△ 97,304

前期末支払資金残高(12)	62,756,924	62,756,924	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	62,756,924	62,854,228	△ 97,304

京都市紫野障害者授産所区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収 益	就労支援事業収益	[6,596,027]	[5,698,016]	[898,011]
	製菓事業収益	(5,696,998)	(4,882,068)	(814,930)
	製菓事業収益(課税)	5,254,310	4,506,886	747,424
	製菓事業収益(不課税)	442,688	375,182	67,506
	下請事業収益(授産所)	(899,029)	(815,948)	(83,081)
	下請事業収益(授産所)(課税)	898,347	807,298	91,049
	下請事業収益(授産所)(不課税)	682	8,650	△ 7,968
	障害福祉サービス等事業収益	[57,139,067]	[55,331,409]	[1,807,658]
	自立支援給付費収益	(48,578,919)	(46,352,733)	(2,226,186)
	介護給付費収益	23,501,523	23,124,310	377,213
	訓練等給付費収益	24,916,595	23,089,239	1,827,356
	計画相談支援給付費収益	160,801	139,184	21,617
	利用者負担金収益	17,732	0	17,732
	その他の事業収益	(8,542,416)	(8,978,676)	(△ 436,260)
	補助金事業収益(公費)課税	0	393,116	△ 393,116
	補助金事業収益(公費)不課税	351,572	179,096	172,476
	受託事業収益(公費)課税	8,098,874	8,335,374	△ 236,500
	その他の事業収益(課税)	91,970	69,140	22,830
	その他の事業収益(不課税)	0	1,950	△ 1,950
	経常経費寄附金収益	[3,420]	[10,944]	[△ 7,524]
サービス活動収益計(1)		63,738,514	61,040,369	2,698,145
サ ピ ス 活	人件費	[45,004,250]	[36,464,602]	[8,539,648]
	職員給料	(26,156,287)	(24,797,825)	(1,358,462)
	職員給料(課税)	1,155,054	637,430	517,624
	職員給料(不課税)	25,001,233	24,160,395	840,838
	職員賞与	5,346,262	1,070,460	4,275,802
	賞与引当金繰入	3,561,460	1,860,000	1,701,460
	非常勤職員給与	(3,386,540)	(3,446,062)	(△ 59,522)
	非常勤職員給与(課税)	80,256	78,294	1,962
	非常勤職員給与(不課税)	3,306,284	3,367,768	△ 61,484
	退職給付費用	807,426	710,484	96,942
	法定福利費	5,746,275	4,579,771	1,166,504
	事業費	[3,029,641]	[2,816,666]	[212,975]
	保健衛生費	128,889	281,321	△ 152,432
	教養娯楽費	69,123	84,364	△ 15,241
	本人支給金	85,100	54,000	31,100
	水道光熱費	(967,434)	(763,028)	(204,406)
	電気料	874,532	654,960	219,572
	ガス料	48,644	45,334	3,310
	上下水道料	44,258	62,734	△ 18,476
	消耗器具備品費	328,024	280,543	47,481
	保険料	243,527	263,389	△ 19,862

京都市紫野障害者授産所区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
動	賃借料	504,802	432,699	72,103
増	教育指導費	133,128	204,073	△ 70,945
減	車両費	(400,464)	(371,680)	(28,784)
の	燃料油脂費	365,814	371,680	△ 5,866
部	その他の車両費	34,650	0	34,650
	雑費	(169,150)	(81,569)	(87,581)
	雑費(課税)	94,150	11,642	82,508
	雑費(非課税)	0	1,420	△ 1,420
	雑費(不課税)	75,000	68,507	6,493
費	事務費	[11,500,625]	[7,560,608]	[3,940,017]
用	福利厚生費	(311,092)	(213,406)	(97,686)
	福利厚生費(課税)	226,866	178,594	48,272
	福利厚生費(不課税)	84,226	34,812	49,414
	旅費交通費	17,338	18,602	△ 1,264
	研修研究費	82,778	99,136	△ 16,358
	事務消耗品費	426,780	171,453	255,327
	印刷製本費	263,495	251,392	12,103
	水道光熱費	589,013	643,061	△ 54,048
	修繕費	684,766	1,609,316	△ 924,550
	通信運搬費	213,404	236,328	△ 22,924
	会議費	1,143	0	1,143
	広報費	37,400	0	37,400
	業務委託費	6,312,199	3,123,057	3,189,142
	手数料	169,474	87,225	82,249
	賃借料	68,211	68,211	0
	租税公課	1,320,850	413,500	907,350
	保守料	799,686	465,500	334,186
	涉外費	121,017	0	121,017
	諸会費	(73,000)	(35,000)	(38,000)
	諸会費(不課税)	73,000	35,000	38,000
	雑費	(8,979)	(125,421)	(△ 116,442)
	雑費(課税)	0	124,421	△ 124,421
	雑費(不課税)	8,979	1,000	7,979
	就労支援事業費用	6,860,547	5,605,399	1,255,148
	就労支援事業販売原価	5,396,032	4,568,372	827,660
	期首製商棚卸高	[91,020]	[102,215]	[△ 11,195]
	当期就労支援事業製造原価	5,346,867	4,557,177	789,690
	期末製商棚卸高	[41,855]	[91,020]	[△ 49,165]
	就労支援事業販管費	1,464,515	1,037,027	427,488
	減価償却費	[842,812]	[1,044,895]	[△ 202,083]
	国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 109,946]	[△ 311,890]	[201,944]
	サービス活動費用計(2)	67,127,929	53,180,280	13,947,649

京都市紫野障害者授産所区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位 : 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 3,389,415	7,860,089	△ 11,249,504
サービス活動外	受取利息配当金収益	[330]	[296]	[34]
	その他のサービス活動外収益	[1,316,085]	[1,259,086]	[56,999]
	受入研修費収益	258,500	179,000	79,500
	雑収益	(1,057,585)	(1,080,086)	(△ 22,501)
	雑収益（課税）	1,051,913	1,073,261	△ 21,348
	雑収益（不課税）	5,672	6,825	△ 1,153
	サービス活動外収益計(4)	1,316,415	1,259,382	57,033
外増用	支払利息	[5,643]	[11,787]	[△ 6,144]
	その他のサービス活動外費用	[994,253]	[1,060,267]	[△ 66,014]
	雑損失	994,253	1,060,267	△ 66,014
部	サービス活動外費用計(5)	999,896	1,072,054	△ 72,158
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	316,519	187,328	129,191
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 3,072,896	8,047,417	△ 11,120,313
特別収益	拠点区分間繰入金収益	[4,940,000]	[0]	[4,940,000]
	特別収益計(8)	4,940,000	0	4,940,000
増減費用の部	固定資産売却損・処分損	[0]	[6]	[△ 6]
	器具及び備品売却損・処分損	0	6	△ 6
	拠点区分間繰入金費用	[5,310,000]	[4,970,000]	[340,000]
	その他の特別損失	[0]	[1,000]	[△ 1,000]
	特別費用計(9)	5,310,000	4,971,006	338,994
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 370,000	△ 4,971,006	4,601,006
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 3,442,896	3,076,411	△ 6,519,307
	前期繰越活動増減差額(12)	66,722,318	66,625,907	96,411
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	63,279,422	69,702,318	△ 6,422,896
差額の部	基本金取崩額(14)	[0]	[0]	[0]
	その他の積立金取崩額(15)	[3,620,000]	[1,520,000]	[2,100,000]
	人件費積立金取崩額	0	1,020,000	△ 1,020,000
	修繕積立金取崩額	1,500,000	0	1,500,000
	備品等購入積立金取崩額	1,320,000	500,000	820,000
	工賃変動積立金取崩額	800,000	0	800,000
額の部	その他の積立金積立額(16)	[1,520,000]	[4,500,000]	[△ 2,980,000]
	人件費積立金積立額	1,520,000	1,000,000	520,000
	修繕積立金積立額	0	2,500,000	△ 2,500,000
	備品等購入積立金積立額	0	1,000,000	△ 1,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	65,379,422	66,722,318	△ 1,342,896

京都市紫野障害者授産所区分 貸借対照表

2023年3月31日現在

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
	前年度末		前年度末
流动資産	67,876,577	流动負債	8,293,356
現金預金	35,307,671	事業未払金	5,656,198
事業未収金	8,528,759	その他の未払金	1,220,530
未収補助金	528,000	1年以内返済予定リース債務	4,415,368
商品・製品	41,855	未払費用	63,688
原材料	349,321	預り金	50,983
立替金	1,218,022	前受金	15,383
前払金	12,816	貯引当金	70,263
拠点区分間貸付金	20,890,233		0
固定資産	52,309,143	固定負債	134,000
その他固定資産	52,309,143	リース債務	2,342
建物	3,791,371	負債の部合計	15,875
車輛運搬具	3		13,748
器具及び備品	1,957,886		2,127
有形リース資産	0		1,786,700
無形リース資産	15,383		
積立資産	76,908		
人件費	46,513,040		
修繕費	48,613,040		
備品等購入	18,500,000		
移行時特別	13,590,000		
工賃受助	4,100,000		
設備等整備	6,123,040		
長期前払費用	31,460		
資産の部合計	120,185,820	負債及び純資産の部合計	123,092,389
	△		△
	2,906,569		2,906,569